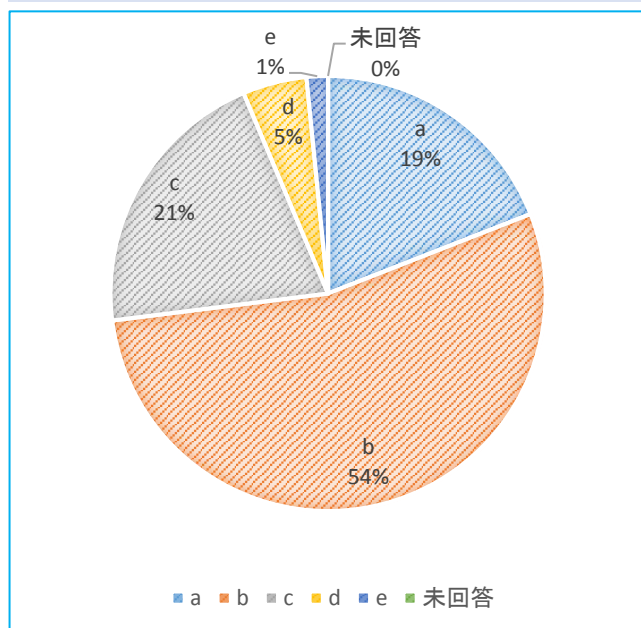


## 第18回 FDフォーラム「スチューデント・アシスタント活用法」(2016.11.10) アンケート集計結果

### 1. 関西大学 岩崎 千晶 氏の講演はいかがでしたか。



a. 大変良かった  
b. 良かった  
c. ふつう  
d. やや良くなかった  
e. 良くなかった

a	b	c	d	e	未回答	計
12	34	13	3	1	0	63

#### ●「a. 大変良かった」と答えた人のコメント

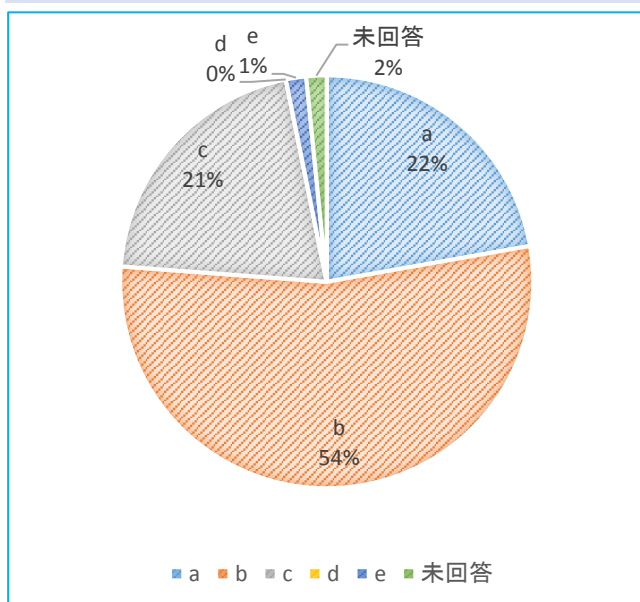
- ◇ とてもわかりやすかったです。時間もピッタリでした。
- ◇ 具体的事例が的確に示されながら話を進められたので、とても分かりやすかった。
- ◇ ・SAに対する研修を詳しく紹介していただいた点  
・専門知と経験知という役割の振り方はわかりやすい
- ◇ LAの役割が具体的にみえてきたこと。
- ◇ LAという仕組み、取組み自体が、優秀な子をより伸ばすのに効果があるように思った。LAを使う学生も、LAになる学生も優秀な学生で、ともに大学での学びがより深まるのではないかと。
- ◇ 本学よりもより効果的なSA活用事例を知ることができた。
- ◇ 本学に着任する前、2005年度から立命館大学におりまして、TAやES(Educational Supporter)の取組に従事しておりました。各大学の特色、事例を教えていただいて、とても勉強になりました。
- ◇ 関西大学では、2009年度からFD活動のために専任教員を4人も配置していることが分かって、関西大学(SA予算も充実している)と愛知大学の「戦力差」を理解できたから。前嶋先生の司会・進行が上手だった。

#### ●「b. 良かった」と答えた人

- ◇ 分かりやすかったです。
- ◇ 事例がよい。
- ◇ わりと広範囲の利用について聞くことができた
- ◇ 具体的な事例が豊富にあり、大変刺激的であった。
- ◇ 実状、最新の情報を知ることができた。自分自身の授業の内容・方法を考えるために参考となった。とくにグループ学習について。

- ◇ ・アクティブラーニングの意味を確認できたこと。  
・「教えること」が「学ぶこと」に大きな意味をもつことが確認できたこと。
- ◇ 他大学の状況を知れたから
- ◇ 他大学の状況がわかり参考になった。
- ◇ 他学の実践事例が理解できた。
- ◇ 他大学の活用方法がよくわかった。SA(LA)への教育をすることも大切であるというのを感じられた。
- ◇ 関西大学のLA活用法(初年度教育)が良くわかった。LAの教育と自主能力開発は特に印象深かった。
- ◇ スチューデント・アシスタントについて理解できたので。
- ◇ 具体的なSAの活用方法が分かった
- ◇ どんなところで使えるのか、SA使用の具体的なイメージがつかめた。
- ◇ SAの活用方法が分かった。大変そうだった。
- ◇ SAを使えるケースと使えないケースが分かって良かった。
- ◇ きめ細かく情報提供を頂きありがとうございました。LA(SA)の導入による学生、教員、LA自身にとっての効果、LA(SA)の育成について、特に参考になりました。
- ◇ LAについて、具体的事例をあげて説明されていた。
- ◇ 日頃、自身が取り組んでいることを図式化、構造化していただき、ありがとうございました。
- ◇ かかわるひと(教員、学生、LA自身)が考える方法そのものを訓練される仕組みだと思った。
- ◇ 以前、授業であるテーマについて議論させようとしたところ、なかなか意見が出ず困ったことがあった。そこで試しに上級生に授業に入ってもらったところ、私が一人で担当していた時に比べて、活発に意見が交わされるようになった。自らのこうした経験からもSAの授業での活用は有効だと感じている。
- ◇ 学生が学生に教えることはとても良いことです。チュータ制度を多く導入すべきです。
- ◇ 私が所属する学部(文学部)では、初年次教育すら実質的にはおこなわれていない状況であり、教員の意識改革のきっかけになるのではなかろうか。又、教職ラーニングcaféの取り組みは本学でも大いに参考にすることができるであろう。ただし、実施時期としては、卒論提出後の1月以降でないが無理ではなかろうか。

## 2. 本学のスチューデント・アシスタント活用事例紹介はいかがでしたか。



- a. 大変良かった
- b. 良かった
- c. ふつう
- d. やや良くなかった
- e. 良くなかった

a	b	c	d	e	未回答	計
14	34	13	0	1	1	63

## ●「a.大変良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 話が具体的。
- ◇ 他学部の活動を知る良い機会となった。
- ◇ 法学部の実践の様子が具体的によくわかった。
- ◇ 「模擬裁判」についてはかねがね耳にしていたが、今回の事例報告でその中身やSAの関わり具合がよく分かった。
- ◇ SAの活用事例というよりも、このようなプロジェクトを実施されている努力とその成果に感銘を受けました。
- ◇ 模擬裁判におけるSAのようなことを、「つつい先輩の当然の仕事」として押しつけていた側面があったので反省しなければと思いました。
- ◇ こんなに学生を使っているのを見て感心した。
- ◇ 学生が作成したシナリオについて、もっと知りたいと思いました。(要件やコツについて)
- ◇ 話が具体的でわかりやすかった。学生の具体的な活動が見えやすかった。広瀬先生の巧みな話術もあると思う。
- ◇ 広瀬先生の取り組みには、いつも頭が下がる思いがする。取り組みに関する先生の感想にも、とても共感できる。

## ●「b.良かった」と答えた人

- ◇ 勉強になりました。
- ◇ 事例がよい。
- ◇ 同じ教員の立場での事例であったこと。
- ◇ 本学の活用事例を初めて知りました。
- ◇ 本学の具体的な取り組みを聞くことができ、勉強になりました。
- ◇ 本学の事例だけあって、説明がわかりやすかった。自主性が育ったという面が見られたのはよい。
- ◇ 本学の代表的な学修活動のつくり上げられていく流れが見えた。
- ◇ イベント型のSA活用という特殊な授業ではあったが、本学の授業の事例であり大いに参考になった。
- ◇ 他学部のもので興味深かった。
- ◇ 他学部の取り組みを知るよい機会となったこと。上回生(4回生)の協力が大きな役割を果たしていることが分かった。
- ◇ 法学部の状況を知れたから
- ◇ 法学部の特徴を生かしていると思った。
- ◇ 法学部の模擬裁判において運営が学生中心に行われており、10年にわたるノウハウは大変参考になりました。ありがとうございました。
- ◇ SAを使えるケースが分かってよかった。
- ◇ SAに採用された学生が活動を通じて成長していく事例を知ることができ、よかった。
- ◇ SAの有効活用の事例を知ることができた。蓄積ノウハウのためにとても良い方法であることを知れた。
- ◇ 役割分担表をつくるというのは参考になった。
- ◇ 運営班とシナリオ班に分かれ、主に運営面でのお話が参考になった。
- ◇ 大変そうだった。
- ◇ 事例としてはやや特殊だと感じた。

- ◇ 実際の活用例は(愛大には)そう多くはないので、実例を知るという点では良かったと思う。ただし、模擬裁判はやや特殊な授業(そもそも学生が能動的に参加することが前提になっている)なので、同様にSAを活用できる授業が(愛大に)他に沢山あるとは現状では考えにくい。組織化されていないが故に抱える問題点etcもはっきりと指摘してもよかったのではないか。
- ◇ 学生を活用する方法を学ぶことができた。参考になった。ただ、熱が入りすぎて授業がおろそかになるのでは本末転倒だと思った。サークル活動の一種？

### 3. 本講演会を聞いて、ご自身の教育活動にどのように活かしていけばいいと思いますか。

- ◆ 大変参考になりました。
- ◆ 今後考えます。
- ◆ 機会があれば講義で活用したい。
- ◆ 一部実施できることはためしてみたいと思う。
- ◆ 少人数の授業にも活用していこうと思いました。
- ◆ グループワークのやり方等で活用していけたらと思う。
- ◆ 意識も高く、よく勉強や研究をしている学生を伸ばすことの難しさを日々実感していたので、こういう方法があるのか、ということがわかった。優秀な学生たちが、研究にやる気がある学生を指導することで、より伸びることを実践していきたい。
- ◆ 文学部での専門教育では、少人数(10人前後)の演習や講読といった授業が多くあり、効果的な学習の実践に向けて、いろいろ工夫する余地があることがわかった。教員自身が自らがかつて受けてきた従来型、旧来型のやり方に満足せず、常に学習効果に気を配るよう自覚することが第一歩であると感じた。
- ◆ 導入教育の対応として参考になったが、担当教員による差が大きいことをどのように平準化するか工夫したい。
- ◆ ラーニングcaféを活かせればと思う。
- ◆ 教職ラーニングカフェの企画・実践へ生かしたい
- ◆ SA活用について参考にしたい。
- ◆ SAをより効果的に活用していきたい。
- ◆ SA、TAの多様な活用方法があることがわかったので、今後試してみようと思った。
- ◆ 授業にグループワークを取り入れて、そこにSAを活用したいと思う。
- ◆ 1年生必修ゼミに活用が可能だと思われる。
- ◆ 自分が担当する演習科目の1つで、SAを使ってみようと思った。具体的には次年度から考えたい。
- ◆ これまで先輩たちやボランティアでやってきた後輩への指導の教育をSAシステムを使ってやるべきと考えた。「現地インターンシップ」の事前学習、事後学習に効果的に利用可能である。
- ◆ SAを雇用したい。
- ◆ 今後もSAを活用するように計画したい。
- ◆ 今後SAをお願いするかもしれない。
- ◆ 愛知大学ではどのようにSAを活用(実習系、フィールドワーク、講義、○○)していくか、模索していきたいです。
- ◆ SAはお願いしており、かなり助かっていますが、研修や、SAどうしによるふりかえりなどの機会はほとんどないと思います。そのあたり、大学でも制度化してもらえると、よりSAの質が高くなり、SAのサポートにもなると思います。
- ◆ SAの単発的活用。より柔軟な他教員によるサポートを得られるとよい。(外国語なので、外国人教員のサポートが単発的にあるとよい)

- ◆ 高年次学部生を成長させるSA制度が必要だと感じた。教育支援センター付教員が本学に導入されても良いのでは？自身としては、現在行っているアクティブ・ラーニングに不足しているものを整理してシラバスの改善につなげたい。
- ◆ 授業形態が異なるため、即参考には出来ないが、アドバイスの仕方等、自分自身の授業での活動に活かせるかと思う。
- ◆ 制度として利用することは難しいかもしれませんが、ゼミ内で、先輩・後輩の関係を通じて、学生中心の学びを模索していきたいと思います。
- ◆ 本学はSAが利用しやすい制度ではない。そこらへんを改変してほしい。
- ◆ 残念ながら、今日の講演内容から、具体的に自身の授業に活かせる示唆は得られなかった。愛大には、岩崎氏のような専門家が常駐しているわけではないから、SAを養成することも担当教員の仕事になってしまう。とくに負担が減らないなら、活用する意味は大きくはないのではないかな。まずは、大学として本気で取り組むなら、組織化してから個々の教員に活用を促すべきである。
- ◆ 興味深く聞かせてもらったが、ただちには導入はむずかしいと思った。授業が進まなくなる。收拾がつかなくなる。
- ◆ 時間がないときはSAを使うくらいなら自分でやった方が早いのであまり活用できないことが分かった。が、時間があればSAを利用したい。
- ◆ 教育活動の内容が違うのでSAを活用することは難しいと思う。
- ◆ 演習形式の授業では、グループワークの導入など、同じような対応をしている。それはそれでよいのだが、講義形式でどう活かせるかは、人数の壁によって、なかなか難しいところがある。
- ◆ SAは成り手自体をさがすのが大変。
- ◆ 活用の前に、SA等FDにつながる教育活動の拡充を議論すべきではないでしょうか。
- ◆ 人員を増やす事が先決